

## 平成 26 年度静岡県危機対処訓練計画

静岡県危機管理部危機対策課

### 1 危機対処訓練の目的

危機事案の発生時に、県、市町の災害対策本部における迅速的確な応急対策と住民等による自助、共助を通じた自らの生命、財産を守る活動が出来るよう努めるとともに、各種防災計画の見直し、防災関係機関の相互連携の確認、県民の防災に関する意識高揚と知識向上を図る。

### 2 危機対処訓練の対象

大規模地震（南海トラフ巨大地震等）、風水害、感染症、火山噴火、国民保護、原子力災害

### 3 危機対処訓練の区分

#### （1）大規模地震（南海トラフ巨大地震等）に関する訓練

本部運営訓練、実動訓練、機能別訓練に区分し、年間を通じて計画的に実施する。なお、県と関係機関、県民等による総合的な訓練の場として、総合防災訓練、地域防災訓練、大規模凶上訓練を設定している。

#### （2）風水害、感染症、火山噴火、国民保護、原子力災害に関する訓練

個別の危機事案（災害）ごとに、関係法令、対処計画、マニュアル等の内容に沿った訓練を実施する。

### 4 危機対処訓練実施にあたっての基本

- （1）実践的な訓練の実施
- （2）効果的な訓練方式の選定
- （3）防災関係機関が参加、連携する訓練の推進
- （4）男女共同参画及び要配慮者の視点に立った防災訓練の実施
- （5）訓練終了後における「ふりかえり」の確実な実施

※参照：平成 26 年度静岡県危機対処訓練計画

# 平成26年度 静岡県危機対処訓練計画

目的、区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
本部運営能力の向上	全職員参集訓練 発災直後の本部運営				総合防災訓練 発災後24時間後に おける本部運営				東海地震 (予知型訓練) 東日本大震災以後 初の予知型訓練			
地域防災力の向上					総合防災訓練 (実動) 発災後72時間以内 伊豆地域で初の県 と共催した訓練				地域防災訓練 (県内全市町) 平成25年度参加者 66万人			津波避難 訓練
機能別 対処能力の向上				特化型訓練 (医療救護等)					特化型訓練 (輸送、物資) 緊急消防援助隊 関東ブロック合 同訓練 県庁等で本部運営訓練 浜松市・磐田市で実動 訓練	地震対策オパ レーション 年間の本部運営 訓練の集大成		航空受援 訓練
風水害			風水害対処訓練(県)	市町風水害 危機管理演習								
感染症				県市町の風水害対処能力向上 避難所、避難経路の確認								
火山噴火												
国民保護												
原子力												原子力防災 訓練

本部運営能力の向上

地域防災力の向上

機能別  
対処能力の向上

風水害

感染症

火山噴火

国民保護

原子力